



かわさきGIGAスクール構想 教職員向けハンドブック
～ステップ3～

川崎市教育委員会

はじめに

令和5年度を迎え、かわさきGIGAスクール構想も、ステップ3の段階となりました。この2年間の先生方御自身の、また学校全体での取組はいかがだったでしょうか？



「ハンドブック0・1」の「はじめに」で、「今までの学校観・指導観から一度大きく離れて、新しい発想・考え方を積極的に取り入れながら、学校教育そのものを見つめ直してみることも必要」と書きました。未来社会の創り手となる子どもたちに必要な力を育てていくために、個別最適な学びと協働的な学びを実現していくうえで、旧来の授業や学校の在り方を、さらに変えていくことが求められます。昨夏の特別研修では、「ファシリテイトする教師」「子どもが主役の授業」「地域コミュニティの拠点としての学校」という言葉でお伝えしましたが、GIGA端末のさらなる活用で、そのような教員・授業・学校を追求し実現していくことが、ステップ3の目標となります。これは、当然この1年間で達成できるものではなく、今後も継続的に、様々な教育活動や地域との連携等を基に実現を目指していくものです。

はじめに

改めて思い起こしてほしいのは、かわさきGIGAスクール構想のキーワードが「つながる」であることです。ステップ2では、既習事項や他者とつながることで、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善を目指しました。ステップ3では、端末を主体的に活用しながら自身の様々な学びをつなぐとともに、学校内外の様々な人々ともつながることで、「自主・自立」「共生・協働」という「かわさき教育プラン」に掲げた目標の実現を目指します。

そのためにも、先生方一人一人が、ステップ2のどの位置にいるのかを自覚するとともに、学校全体としての課題を明確にしていくことが必要です。「ハンドブック2」では、「ステップ2を進んでいくのは、川崎の全ての先生方」と書きました。ステップ3では、先生方は勿論、主体的にICTを活用していくのは子どもたち自身です。学校全体で「かわさきGIGAスクール構想」を推進していくことで、川崎の子どもたちが未来を切り拓いていけるよう、今後も、さらなる積極的な取組をお願い申し上げます。

令和5年3月 川崎市教育委員会 教育長 小田嶋 満

目次

- 1 まず知っておきたいこと
- 2 ステップ3につながるアプリ活用
- 3 情報モラルの指導につながる
- 4 教科等の学びにつながる
- 5 かわさきの豊かな学びにつながる
- 6 個に応じた指導につながる
- 7 今こそ考えるステップ0・1・2
- 8 管理・トラブル
- 9 おわりに

